

北九州市立美術館をペーパークラフトで作ろう！

北九州市立美術館の特徴的な外観を、折りたたみできるペーパークラフトで再現します。組み立てやすいキットにしているので、小学生でも制作できます。

【募集人数】小・中学生 10名

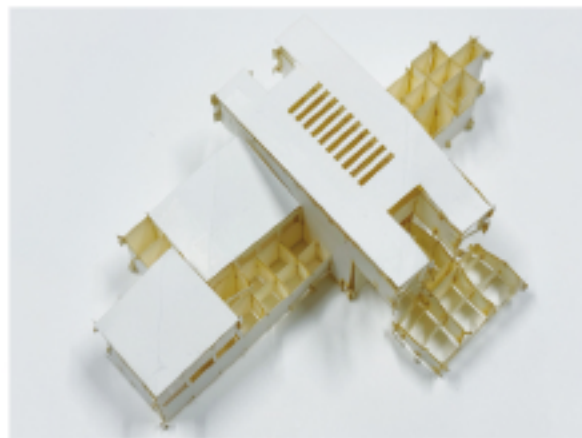
【日時】2025年2月16日(日)

14:00～16:00

【会場】北九州市立美術館・本館エデュケーションルームB

【講師】水野 貴博

(西日本工業大学デザイン学部建築学科教授)



美術館ないアート 中島佑太ワークショップ

《ぬいかけの植物園計画室》は、アーティスト中島佑太さんと北九州市の子どもたちが一緒に10年かけて植物園をつくるプロジェクトです。9年目となる今年度は、これまでつくられた植物のぬいぐるみなどを館内に設置し展示のようにふるまいます。美術館に展示を見に来た人がいつでも参加できるワークショップも開催します。

申込不要 展示風 ぬいかけの植物園計画室

展示されている作品は全て制作中(ぬいかけ)のものたちです。作品の一部は、制作に参加したり、体験することができます。

【期間】2024年9月8日(日)～11月10日(日)

美術館開館日の9:30～17:30

【会場】北九州市立美術館・本館エントランスホール

【対象】どなたでも。事前申込不要

入場および参加費無料



ワークショップ 要申込 「美術館で□する人」

来場者、鑑賞者、参加者、学芸員、監視員。美術館には、さまざまな役割を持った人々がやってきます。「参加する人」や「見に来た人」の役割を書き換えながら、美術館での過ごし方や、展示作品との関わり方について考えるワークショップです。

【日時】2024年9月8日(日) 10:00～12:00

【集合場所】北九州市立美術館・本館エデュケーションルームB

【対象】子どもや大人 20名

詳細は7月下旬に美術館ホームページで公開します。参加申し込みフォームからお申し込みください。

(他のワークショップとは申し込み方法や切が異なりますのでご注意ください)



【美術館でワークショップをする人】中島 佑太 (アーティスト)

1985年に前橋市に生まれ、現在も前橋市在住。東京藝術大学卒業。ルールや思い込みにとらわれてワークショップをし続けるアーティスト。もしくはアーティストという役を演じている人。

中島 佑太 HP <https://nakajimayuta.net/>



北九州市立美術館

2024年度ワークショップ

参加者
募集!

街なかアート 柴川敏之ワークショップ

会場 イオンモール八幡東 3階ピンクラテ前 ※美術館が会場ではありませんのでご注意ください。

ワークショップ 要申込 2000年後の絵手紙をつくろう！

【日時】2024年10月12日(土) 10:30～(制作は1時間～1時間半程度)

【内容】2000年後を想像しながら、身近な物に和紙をかぶせ、黒インクとローラーで形を写し取ります。紙に形があらわれる様子は、まるで土の中から化石を発掘しているよう。裏から自由に着色し、乾燥後は台紙に貼って絵手紙に仕立てます。

【対象】小・中学生

【人数】10名



ミニ・ワークショップ 申込不要

未来を占おう！ 2000年後のおみくじ in 北九州

【日時】2024年10月12日(土) 13:00～16:00の間いつでも(制作は約5～10分)

【内容】2000年後の世界がどうなっているかをみんなで占いましょう。身近な物に小さな和紙をかぶせ、黒インクとローラーで形を写し取ります。紙にあらわれた「化石」に、くじでひいた色(6色のうち一つ)の絵具で裏から着色して完成！ *作品は持ち帰って、風鈴に付ける短冊や本のおしりとしても活用できます。

【対象】幼児～大人

【人数】飛び込み参加OK!

※先着500名

材料がなくなった場合は終了します



【講師】柴川 敏之 (美術家、就実短期大学教授)

1966年に大阪市に生まれ、現在は岡山市在住。広島大学大学院修了。イタリアのポンペイ遺跡など、突如消失した文化の痕跡に触発され、「2000年後から見た現代社会」をテーマに制作を続ける。展覧会やアートプロジェクトを通して、物の存在や現代の諸問題を見つめ直す活動を行っている。

柴川 敏之 HP <https://www.toshiyuki-shibakawa.com>

